



平成24年2月6日

各位

上場会社名 日本化成株式会社
 代表者 取締役社長 中村 英輔
 (コード番号 4007)
 問合せ先責任者 経理部長 関 信哉
 (TEL 03-5540-5861)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月12日に発表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,450	1,980	2,060	1,060	10.09
今回修正予想(B)	32,700	450	800	300	2.85
増減額(B-A)	△4,750	△1,530	△1,260	△760	
増減率(%)	△12.7	△77.3	△61.2	△71.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	39,118	3,086	3,005	△961	△9.14

修正の理由

現下の日本経済は、欧州債務危機の長期化に伴う世界経済の減速や歴史的な円高、電力供給問題、中東原油情勢など各種不安要素を抱え、不透明感を強めております。

このような状況の下、当社グループは、昨年3月の大震災で大きな被害を受けた小名浜工場の復旧を先ずは当面の最優先課題として位置づけ、全力で取り組んでまいりましたが、8月には計画した全ての設備の立ち上げを完了いたしました。

一方、当社グループの業績は、第1四半期は比較的堅調に推移し、震災復旧需要に支えられたエンジニアリング事業がその後も堅調さを維持しておりますが、第2四半期以降、基盤事業であるアンモニア系製品に加え、機能化学品の販売数量が徐々に減少し、第3四半期の損益は大幅に悪化いたしました。

しかしながら、前述のように落ち込んだ主要製品の需要も昨年12月に底入れしたと思われ、今後徐々に需要が回復するものと期待されますが、第3四半期、第4四半期を通じた全体では当初想定した水準を見込めない状況にありますことから、平成24年3月期通期の連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が平成23年5月12日に発表した業績予想数値を大幅に下回る見通しとなりました。

なお、改正法人税法及び復興財源確保法の公布に伴い、第3四半期連結会計期間において繰延税金資産・負債を取り崩しております。

当社グループといたしましては、今後さらなるコスト削減並びに販売拡大努力等を積み重ねることにより早期に業績の回復を図るべく最大限の努力を継続してまいります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年5月12日発表)	—	0.00	—	2.00 ～3.00	2.00 ～3.00
今回修正予想	—	—	—	2.00	2.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	0.00	—	2.00	2.00

修正の理由

当社は利益配当につきましては、連結業績に応じて安定的に行っていくことを基本とし、財務体質の健全性に配慮し経営基盤強化及び将来の事業展開に必要な内部留保の充実に努め、これらを総合的に勘案して決定することとしております。

平成24年3月期の1株当たりの配当予想につきましては、本日発表しました上記平成24年3月期通期連結業績予想修正を踏まえ、1株当たり2～3円(期末、普通配当)から2円(期末、普通配当)に修正することといたしました。

なお、最終的には、平成24年5月11日開催予定の取締役会において決定の後、同年6月28日開催予定の当社第98回定時株主総会に付議する予定です。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上